数 量 計 算 書

汚水枝線築造工事(R8-2)・補助

目　　次

塩ビ推進工 ―― 1

立　　坑　　工 ―― 4

薬 液 注 入 工 ―― 11

内径200mm(PRP)管布設工 ―― 16

１号組立マンホール設置工 ―― 21

２号組立マンホール設置工 ―― 25

塩ビマンホール設置工 ―― 29

副 管 設 置 工 ―― 32

取付管及び桝設置工 ―― 38

付　　帯　　工 ―― 44

運 搬 重 量 ―― 47

塩ビ推進工

泥土圧式

管渠数量・路線延長調書

推進工法用硬質塩化ビニル管　低耐荷力方式(泥土圧方式)　呼び径　200mm

		No.104-5-1-1 ～No.104-5-2-1	No.104-5-2-1 ～No.4-8-1						合　計
路　線　延　長		62.00　m	48.00　m						110.00　m
推　進　延　長 (a)		60.10　m	46.40　m						106.50　m
管　布　設　延　長 (b)		0.70　m	0.40　m						1.10　m
管　体　延　長 (c):(a)+(b)		60.80　m	46.80　m						107.60　m
管 本 数	先頭管 (SUSカラー) 有効長 L=1,000 ㎜	1　本	1　本						2　本
	先頭管 (SUSカラー) 有効長 L=2,000 ㎜	本	本						本
	標準管 (SUSカラー) 有効長 L=1,000 ㎜	59　本	45　本						104　本
	標準管 (SUSカラー) 有効長 L=2,000 ㎜	本	本						本
	最終管 (SUSカラー) 有効長 L=1,000 ㎜	1　本	1　本						2　本
	最終管 (SUSカラー) 有効長 L=2,000 ㎜	本	本						本
	マンホール用可とう継手	2　個	2　個						4　個
発生土	$\pi/4\times$管外径$(0.216)^2\times$推進延長	2.20　m^3	1.70　m^3						3.90　m^3
添 加 材 注 入 工		m	m						m
備　　考									

推 進 仮 設 備 工 数 量 表

推進工法用硬質塩化ビニル管　低耐荷力方式(泥土圧方式)　呼び径 200mm

項　　目	算　　式	数　　量
坑　口　工(小型立坑)	推進スパン数×2(片発進部および両発進部) － 到達マンホール数	3 箇所
〃	到達既設マンホール	1 箇所
推 進 設 備 工		1 箇所
推進設備据換工		1 箇所
スクリュコンベア類撤去工	１ ｍ 管 推 進	106.50 ｍ
	２ ｍ 管 推 進	ｍ
鏡 切 り 工	鋼製ケーシング式立坑　φ2000以下	3 箇所
先導管据付撤去工　分割回収	推進スパン数	2 箇所
推進機架台	$2.00^2 \times \pi / 4 \times 1.30$m	4.1 空m^3

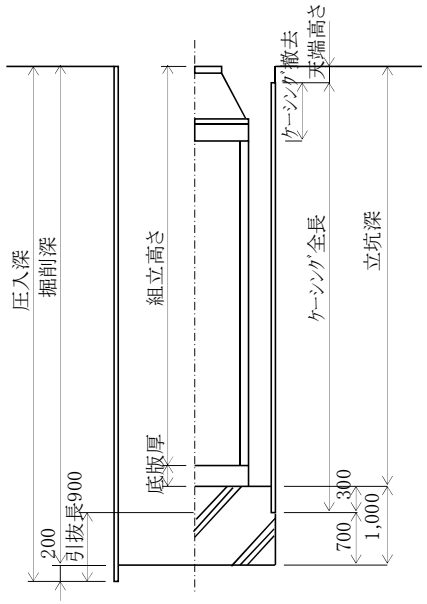
立　坑　工

鋼製立坑土工集計表

立坑番号	立坑寸法	立坑掘削	埋戻し	埋め戻し	発生土	舗装切断工	舗装破砕	ガラ処分	仮復旧				
									表層工	上層路盤	下層路盤		
			エアモルタル	砕石	処分	t≦15cm	t≦10cm		t=3cm	t=22cm	t=20cm		
	(m)	(m³)	(m³)	(m³)	(m³)	(m)	(m²)	(m³)	(m²)	(m²)	(m²)	(m²)	(m²)
No.104-5-1-1到達立坑	t=12 φ1800	9.31	1.08	1.04	9.31	6.62	3.31	0.17	2.78	2.02	2.02		
No.104-5-2-1発進立坑	t=12 φ2000	16.49	4.10	1.67	16.49	7.29	4.01	0.20	3.48	2.61	2.61		
合 計		25.80	5.18	2.71	25.80	13.91	7.32	0.37	6.26	4.63	4.63		

鋼製立坑数量計算書及び集計表（φ1800）

立坑番号	立坑形状	立坑深	掘削深		圧入深	天端高さ	ケーシング長	仮設ケーシング	ケーシング溶接	掘削土量	発生土	埋戻し モルタル	埋戻し 砕石	ケーシング撤去長	ケーシング切断長	ケーシング撤去重量	鏡切り	備考
		m		m	m	m	m	回	箇所	m^3	m^3	m^3	m^3	m	m	t	箇所	
No.104 -5-1-1	t=12 φ1.80	3.616	砂質土	1.806	3.816	0.116	2.80	1		表層 t=0.05 9.31	9.31	1.08	1.04	1.384	11.191	0.768	1	
			粘性土	1.810														
			礫質土															
			計	3.616														
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
合 計			砂質土	1.806	3.816		2.80	1		9.31	9.31	1.08	1.04	1.384	11.191	0.768	1	
			粘性土	1.810														
			礫質土															
			計	3.616														



掘削土量
V＝(掘削深－舗装厚)×掘削土量(m^3/m)

ケーシング撤去長
L＝1.50－天端高さ

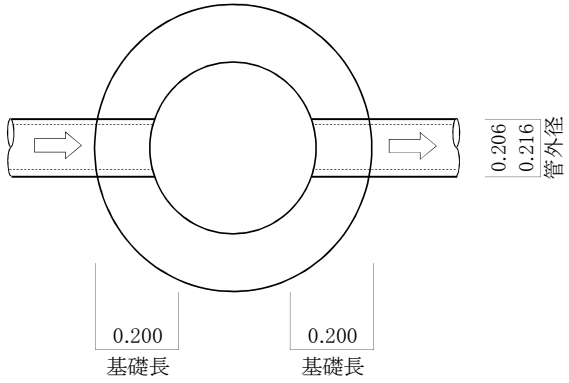
ケーシング切断長
L＝呼び径×π＋ケーシング撤去長×4

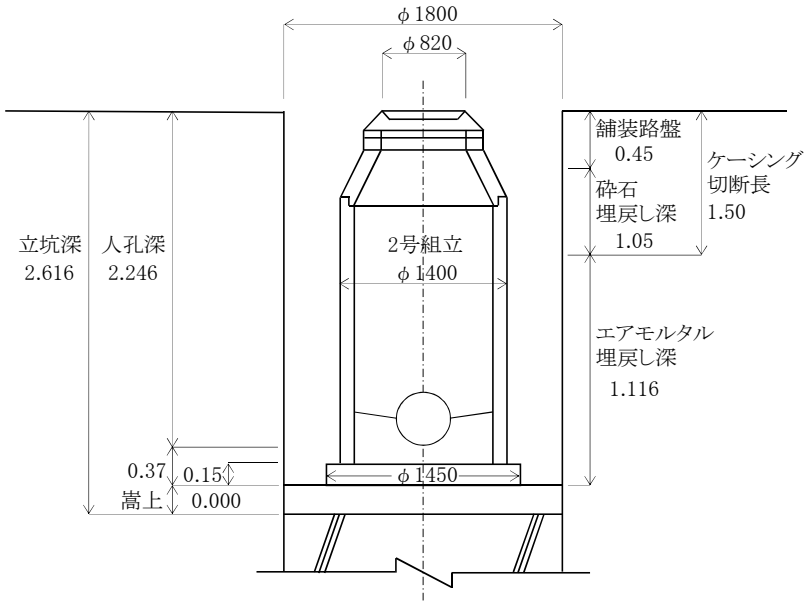
ケーシング撤去重量
W＝撤去長×ケーシング重量(kg/m)

	φ1.50	φ1.80	φ2.00	φ2.00
ケーシング厚み	12	12	12	16
ケーシング重量	466kg/m	555kg/m	615kg/m	818kg/m
ケーシング溶接	4.7 m	5.7 m	6.3 m	6.3 m
掘削土量	1.82m^3/m	2.61m^3/m	3.22m^3/m	3.24m^3/m

鋼製立坑埋戻工・付帯工（φ 1800 ）　No.104-5-1-1

略　　図

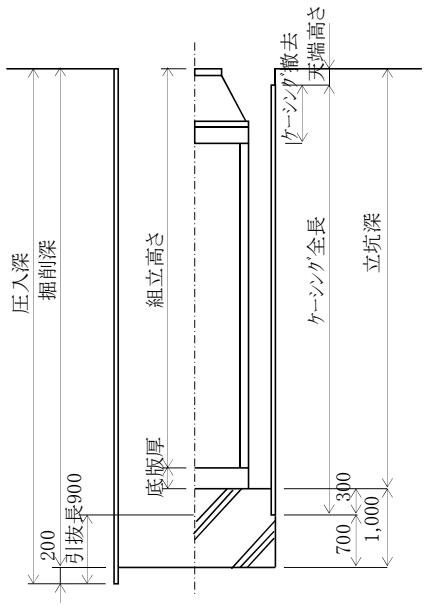




種　目	計　算　式	数　量
エアモルタル 埋戻し量	2.616 － 1.50 － 0.000 ＝ 1.116 m	
	1.80^2 × π/4 × 1.116 ＝ 2.84 m^3	
埋戻し控除	人孔 1.40^2 × π/4 ×(1.116 － 0.15) ＝ 1.49 m^3	
	1.45^2 × π/4 × 0.15 ＝ 0.25 m^3	
	管類 0.216^2 × π/4 × 0.200 × 1	
	＋ 0.206^2 × π/4 × 0.200 × 2 ＝ 0.02 m^3	
	控除量合計 1.49 ＋ 0.25 ＋ 0.02 ＝ 1.76 m^3	
	埋戻し土量 2.84 － 1.76 ＝	1.08 m^3
砕石 埋戻し量	1.500 － 0.450 ＝ 1.050 m	
	1.80^2 × π/4 × 1.050 ＝ 2.67 m^3	
埋戻し控除	人孔 1.40^2 × π/4 × 1.050 ＝ 1.62 m^3	
	管類 0.206^2 × π/4 × 0.200 × 1 ＝ 0.01 m^3	
	控除量合計 1.62 ＋ 0.01 ＝ 1.63 m^3	
	埋戻し土量 2.67 － 1.63 ＝	1.04 m^3
舗装版切断工 As t= 5	八角形切断 0.828 × 8 ＝	6.62 m
舗装版破砕工 As t= 5	(0.828 × 1.000 × 1/2)× 8 ＝	3.31 m^2
Asガラ処分	3.31 × 0.05 ＝	0.17 m^3
表層工 As t= 3	3.31 － 0.82^2 × π/4 ＝	2.78 m^2
路盤工 上層 t= 22	(1.80^2 － 0.82^2) × π/4 ＝	2.02 m^2
路盤工 下層 t= 20	(1.80^2 － 0.82^2) × π/4 ＝	2.02 m^2

鋼製立坑数量計算書及び集計表（φ2000）

立坑番号	立坑形状	立坑深	掘削深		圧入深	天端高さ	ケーシング長	仮設ケーシング	ケーシング溶接	掘削土量	発生土	埋戻し モルタル	埋戻し 砕石	ケーシング撤去長	ケーシング切断長	ケーシング撤去重量	鏡切り	備考
		m		m	m	m	m	回	箇所	m^3	m^3	m^3	m^3	m	m	t	箇所	
No.104 -5-2-1	t=12 φ2.00	4.172	砂質土	3.122	5.372	0.072	4.40	1	1	表層 t=0.05 16.49	16.49	4.10	1.67	1.428	11.995	0.878	2	
			粘性土	2.050														
			礫質土															
			計	5.172														
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
			砂質土															
			粘性土															
			礫質土															
			計															
合 計			砂質土	3.122	5.372		4.40	1	1	16.49	16.49	4.10	1.67	1.428	11.995	0.878	2	
			粘性土	2.050														
			礫質土															
			計	5.172														



掘削土量
V＝(掘削深－舗装厚)×掘削土量(m^3/m)

ケーシング撤去長
L＝1.50－天端高さ

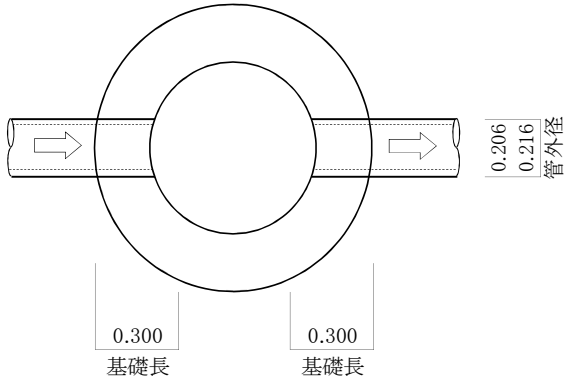
ケーシング切断長
L＝呼び径×π＋ケーシング撤去長×4

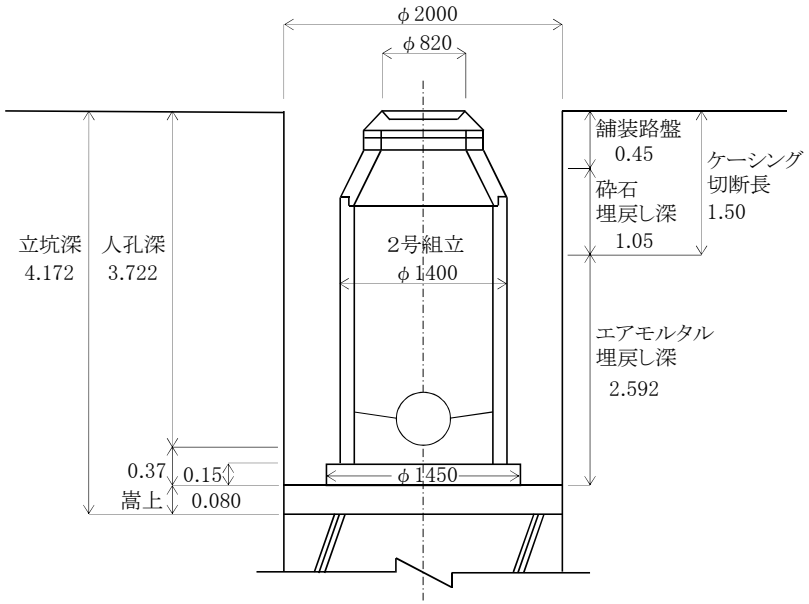
ケーシング撤去重量
W＝撤去長×ケーシング重量(kg/m)

	φ1.50	φ1.80	φ2.00	φ2.00
ケーシング厚み	12	12	12	16
ケーシング重量	466kg/m	555kg/m	615kg/m	818kg/m
ケーシング溶接	4.7 m	5.7 m	6.3 m	6.3 m
掘削土量	1.82m^3/m	2.61m^3/m	3.22m^3/m	3.24m^3/m

鋼製立坑埋戻工・付帯工（φ 2000 ）No. 104-5-2-1

略　　図

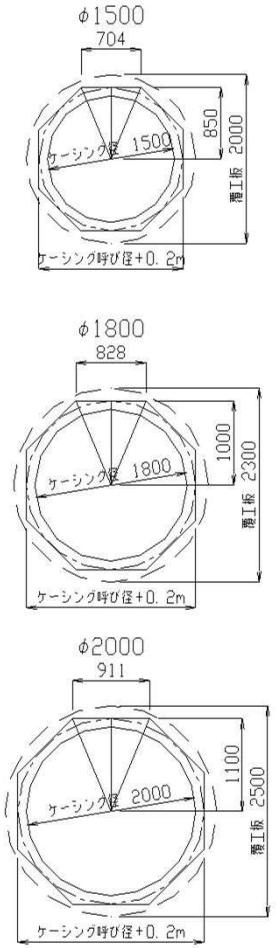




種　目	計　算　式	数　量
エアモルタル 埋戻し量	4.172 － 1.50 － 0.080 ＝ 2.592 m	
	2.00^2 × π/4 × 2.592 ＝ 8.14 m^3	
埋戻し控除	人孔 1.40^2 × π/4 ×(2.592 － 0.15) ＝ 3.76 m^3	
	1.45^2 × π/4 × 0.15 ＝ 0.25 m^3	
	管類 0.216^2 × π/4 × 0.300 × 2	
	＋ 0.206^2 × π/4 × 0.300 × 1 ＝ 0.03 m^3	
	控除量合計 3.76 ＋ 0.25 ＋ 0.03 ＝ 4.04 m^3	
	埋戻し土量 8.14 － 4.04 ＝	4.10 m^3
砕石 埋戻し量	1.500 － 0.450 ＝ 1.050 m	
	2.00^2 × π/4 × 1.050 ＝ 3.30 m^3	
埋戻し控除	人孔 1.40^2 × π/4 × 1.050 ＝ 1.62 m^3	
	管類 0.206^2 × π/4 × 0.300 × 1 ＝ 0.01	
	控除量合計 1.62 ＋ 0.01 ＝ 1.63 m^3	
	埋戻し土量 3.30 － 1.63 ＝	1.67 m^3
舗装版切断工 As t= 5	八角形切断 0.911 × 8 ＝	7.29 m
舗装版破砕工 As t= 5	(0.911 × 1.100 × 1/2)× 8 ＝	4.01 m^2
Asガラ処分	4.01 × 0.05 ＝	0.20 m^3
表層工 As t= 3	4.01 － 0.82^2 × π/4 ＝	3.48 m^2
路盤工 上層 t= 22	(2.00^2 － 0.82^2) × π/4 ＝	2.61 m^2
路盤工 下層 t= 20	(2.00^2 － 0.82^2) × π/4 ＝	2.61 m^2

鋼製立坑路面覆工数量計算書

立坑番号	立坑形状	種別	形式	覆工板			受桁				桁受材				備考
				形状寸法	面積	重量	型式	本数	長さ	重量	型式	本数	長さ	重量	
					m²	t		本	m	t		本	m	t	
No.104-5-1-1	φ1800	到達	鋼製	φ2300	4.15	1.020									舗装切断図
No.104-5-2-1	φ2000	到達	鋼製	φ2500	4.91	1.170									
計					9.06	2.190									

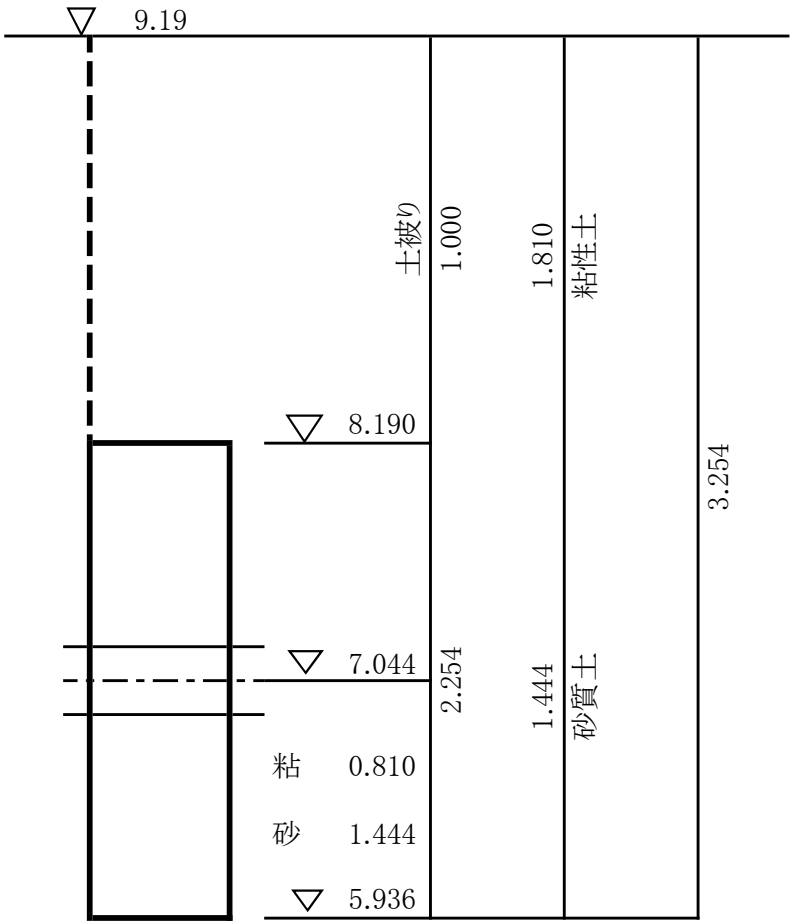


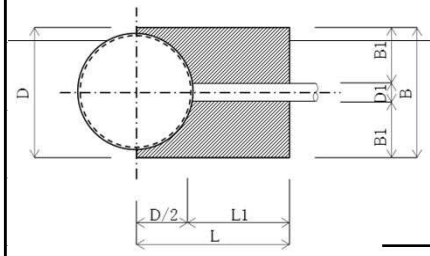
薬 液 注 入 工

調　　書

略　　図	算　式・数　量

No.104-5-1-1到達立坑　下流坑口　　1　箇所　　BorNo.10(R5)





面積
2.216×2.900＝　6.426

控除
1.800 ²×π/4×1/2＝　-1.272

合計　5.154 ㎡

B＝ 2.216
L＝ 2.900

平面積　＝　5.154 ㎡

粘性土　V1＝　5.154 ㎡ ×　0.810 m×　1　箇所＝　4.175 ㎥

砂質土　V2＝　5.154 ㎡ ×　1.444 m×　1　箇所＝　7.442 ㎥

削孔長　3.254 m

粘性土　1.810 m

砂質土　1.444 m

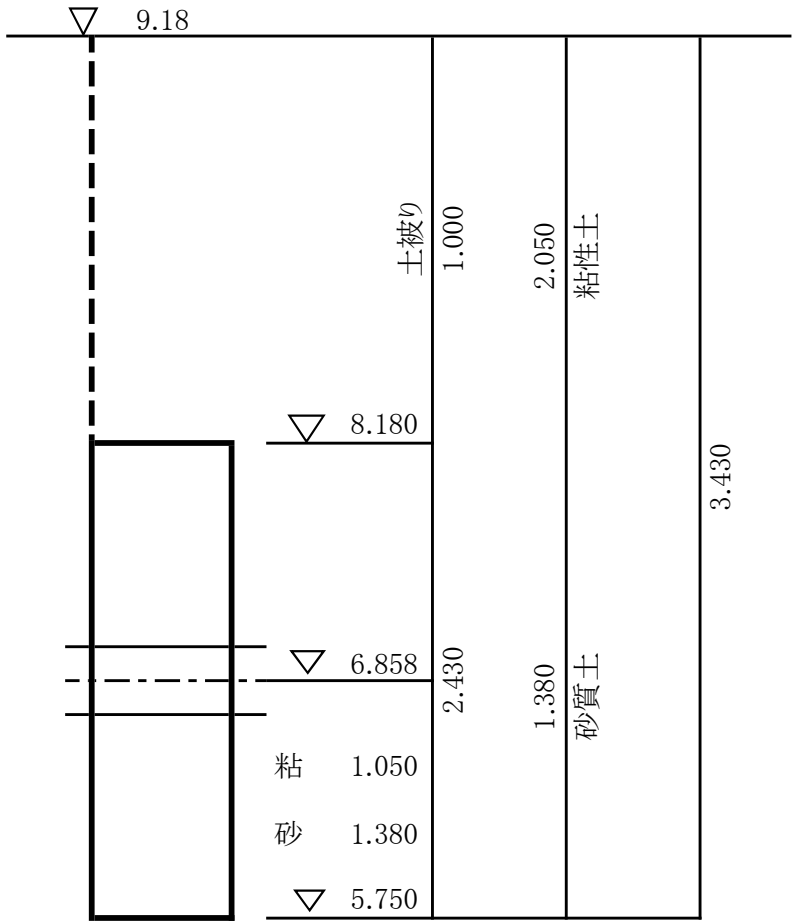
注入本数　5.154　／　1.0　㎡ ＝　6　本

6 本 ×　1　箇所＝　6　本

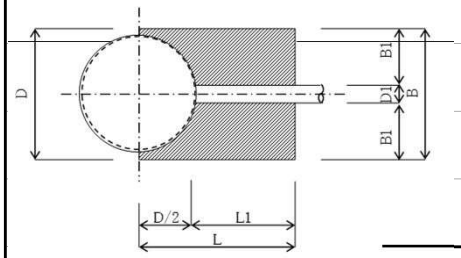
調　　書

略　　図

No.104-5-2-1両発進立坑　上流坑口　　1　箇所　　BorNo.1(H29)



算　式・数　量



面積

2.216×3.000＝　6.648

控除

2.000 ²×π/4×1/2＝　-1.571

合計　　5.077 ㎡

B＝ 2.216
L＝ 3.000

平面積　　＝　5.077 ㎡

粘性土　V1＝　5.077 ㎡ ×　1.050 m×　1　箇所＝　5.331 ㎥

砂質土　V2＝　5.077 ㎡ ×　1.380 m×　1　箇所＝　7.006 ㎥

削孔長　　3.430 m

粘性土　　2.050 m

砂質土　　1.380 m

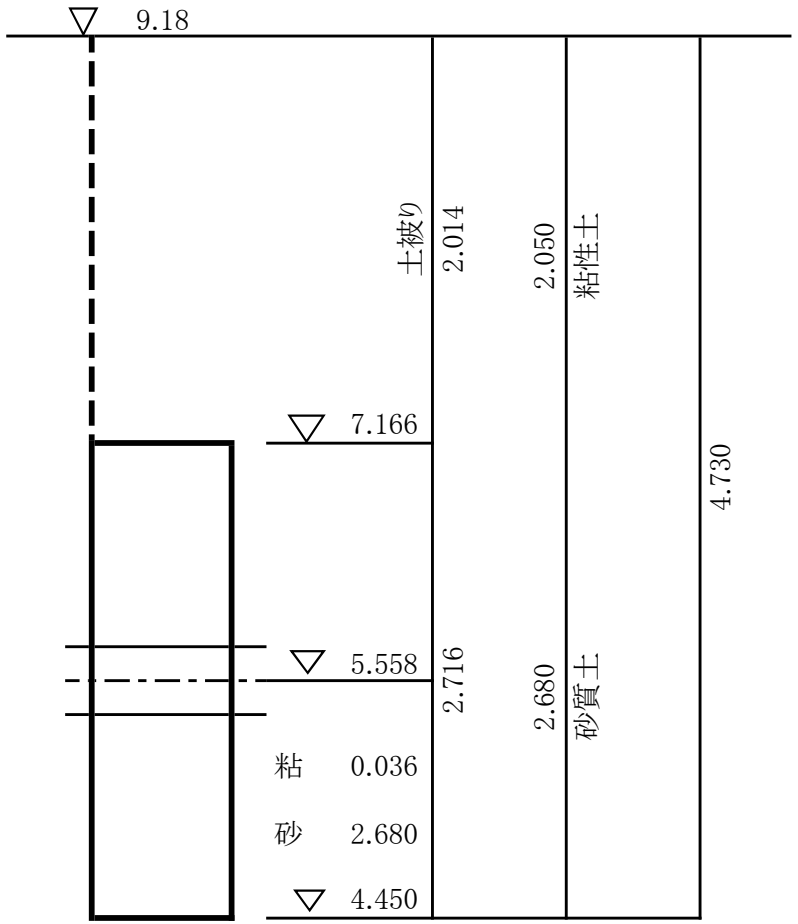
注入本数　　5.077　／　1.0　㎡ ＝　6　本

6 本 ×　1　箇所＝　6　本

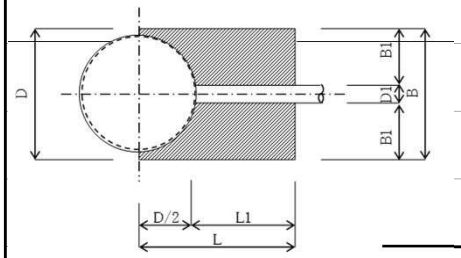
調　　書

略　　図

No.104-5-2-1両発進立坑　下流坑口　　1　箇所　　BorNo.1(H29)



算　式・数　量



面積

2.216×3.000＝　6.648

控除

2.000 ²×π/4×1/2＝　-1.571

合計　　5.077 ㎡

B＝ 2.216
L＝ 3.000

平面積　　＝　5.077 ㎡

粘性土　V1＝　5.077 ㎡ ×　0.036 m×　1　箇所＝　0.183 ㎥

砂質土　V2＝　5.077 ㎡ ×　2.680 m×　1　箇所＝　13.606 ㎥

削孔長　　4.730 m

粘性土　　2.050 m

砂質土　　2.680 m

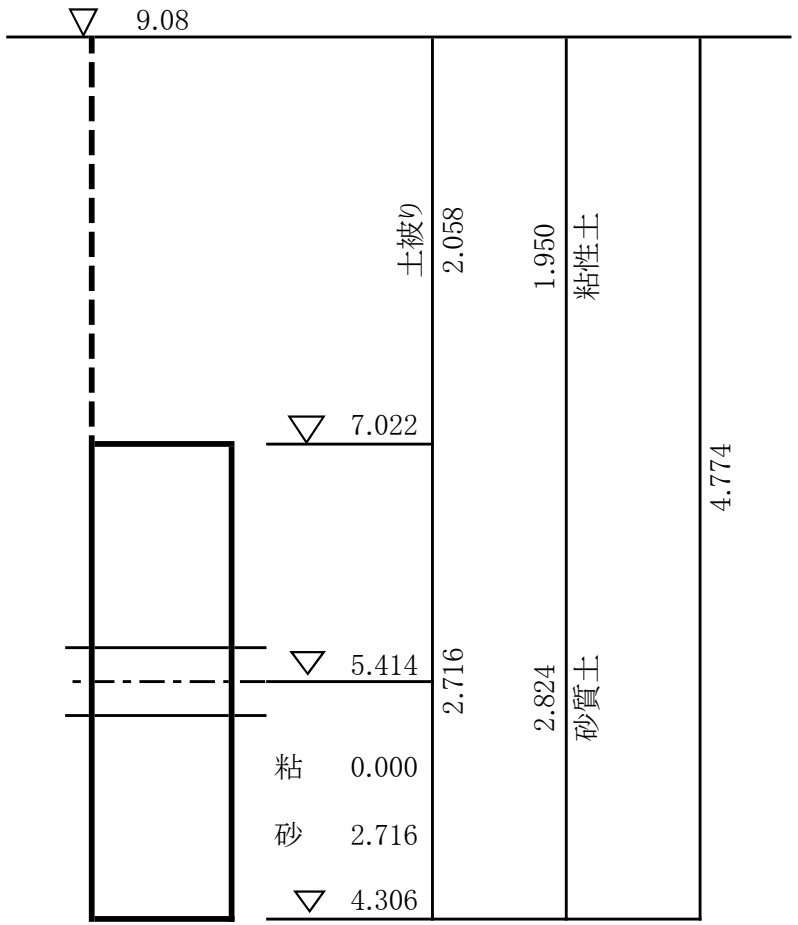
注入本数　　5.077　／　1.0　㎡ ＝　6　本

6 本 ×　1　箇所＝　6　本

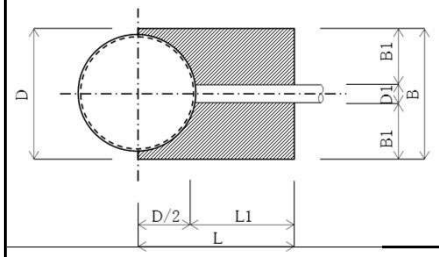
調　　書

略　　図

既設No.4-8-1到達人孔　上流坑口　　1　箇所　　BorNo.1(H29)



算　式・数　量



面積
2.216×2.900＝　6.426

控除
1.800 ²×π/4×1/2＝　-1.272

合計　5.154 ㎡

B＝ 2.216
L＝ 2.900

平面積　＝　5.154 ㎡

粘性土　V1＝　0.000 ㎡ ×　0.000 m×　0　箇所＝　0.000 ㎥

砂質土　V2＝　5.154 ㎡ ×　2.716 m×　1　箇所＝　13.998 ㎥

削孔長　4.774 m

粘性土　1.950 m

砂質土　2.824 m

注入本数　5.154　／　1.0　㎡ ＝　6　本

6 本 ×　1　箇所＝　6　本

内径200mm(PRP)管布設工

管きょ工（管径200mm）数量集計表

工種	種別	規格	単位	アルミ矢板 建込 L=2.0m 使用率50% 軽量支保 1段	アルミ矢板 建込 L=2.0m 軽量支保 1段	アルミ矢板 建込 L=2.5m 軽量支保 1段	アルミ矢板 建込 L=2.5m 軽量支保 2段	アルミ矢板 建込 L=3.0m 軽量支保 2段		合計
管路土工										
	布掘工	バックホウ床掘 0.35㎥	㎥							㎥
	機械掘削工	バックホウ掘削 0.20㎥	㎥		151.75	41.89	197.55			391.19 ㎥
	機械投入埋戻工	バックホウ埋戻 0.20㎥（RC-40）	㎥		77.26	22.70	120.98			220.94 ㎥
	発生土処分工	DT運搬 4t車（BH積込 0.20㎥）	㎥		151.75	41.89	197.55			391.19 ㎥
管布設工										
	路線延長		m		95.30	23.80	95.90			215.00 m
	管体延長	管布設工	m		91.35	22.90	93.05			207.30 m
	リブ付硬質塩化ビニル管	ゴム輪受口片受直管 φ200×4000	本						次頁より	52 本
	リブ付硬質塩化ビニル管	副管用マンホール継手 φ200×1000	本						次頁より	本
	マンホール用可とう継手	塩ビ管用 φ200	個						次頁より	13 個
管基礎工										
	砕石基礎工	機械施工(再生切込砕石RC-40)	㎥		34.47	8.88	35.43			78.78 ㎥
管路土留工										
	掘削延長	管路土留工	m		92.40	23.80	95.00			211.20 m

管渠土工数量計算書

路線名	管径	マンホール番号 上流側 / 下流側	平均掘削深 上流A / 下流B	平均掘削深 H=(A+B)/2	路線延長 L	管体延長 人孔控除	管体延長 延長 L1	管本数 直管 受口 l=4.0	管本数 副管継手 受口 l=1.0	管本数 可とう継手 受差	土工延長 立坑控除	土工延長 延長 L2	一次機械掘削 掘削厚 / 掘削幅 G1/G2	一次機械掘削 土量 V1 G1×G2×L2	二次機械掘削 掘削厚 / 掘削幅 G3/G4	二次機械掘削 土量 V2 G3×G4×L2	埋戻土量 砕石基礎 P=L2×(G4×t-Q) t=0.406	埋戻土量 管渠断面積 Q=D²×π/4 D=0.206	埋戻土量 管渠控除土量 R=L2×Q	埋戻土量 路盤控除土量 S=L2×G2orG4×h2	埋戻土量 砕石埋戻 V3=V4-P-R-S	残土量 V4=V1+V2	表層厚 h1 / 路盤厚 h2
	mm		m	m	m	m	m	本	本	個	m	m	m	㎥	m	㎥	㎥	㎡	㎥	㎥	㎥	㎥	m／m
100-3	200	100-3-1	1.61	1.63	3.30	0.45	2.66	0.7		1		3.30			1.58	5.21	1.23	0.033	0.11	1.32	2.55	5.21	0.05
		100-3-2	1.64			0.19									1.00								0.40
100-3	200	100-3-2	1.64	1.64	14.00	0.29	13.26	3.3		1		14.00			1.59	22.26	5.22	0.033	0.46	5.60	10.98	22.26	0.05
		100-5-1	1.64			0.45									1.00								0.40
100-5	200	100-5-1	1.66	1.81	23.80	0.45	22.90	5.7		2		23.80			1.76	41.89	8.88	0.033	0.79	9.52	22.70	41.89	0.05
		102-1-1	1.95			0.45									1.00								0.40
102-1	200	102-1-1	1.97	2.01	23.90	0.45	23.00	5.8		2		23.90			1.96	46.84	8.91	0.033	0.79	9.56	27.58	46.84	0.05
		102-3-1	2.04			0.45									1.00								0.40
102-3	200	102-3-1	2.06	2.10	33.00	0.45	32.10	8.0		2		33.00			2.05	67.65	12.31	0.033	1.09	13.20	41.05	67.65	0.05
		104-1-1	2.13			0.45									1.00								0.40
104-1	200	104-1-1	2.15	2.23	39.00	0.45	37.95	9.5		2	0.90	38.10			2.18	83.06	14.21	0.033	1.26	15.24	52.35	83.06	0.05
		104-5-1-1	2.30			0.60									1.00								0.40
S104-5		104-5-2-1	1.61	1.69	47.00	0.60	46.21	11.6		1		46.00			1.64	75.44	17.16	0.033	1.52	18.40	38.36	75.44	0.05
-1	200	S104-5-1-1	1.76			0.19					1.00				1.00								0.40
S104-5		S104-5-1-1	1.76	1.78	15.00	0.29	14.11	3.5		1		14.10			1.73	24.39	5.26	0.033	0.47	5.64	13.02	24.39	0.05
-1	200	104-5-1-1	1.80			0.60					0.90				1.00								0.40
S104-5		S104-5-2-1	1.65	1.68	16.00	0.29	15.11	3.8		1		15.00			1.63	24.45	5.60	0.033	0.50	6.00	12.35	24.45	0.05
-2	200	104-5-2-1	1.71			0.60					1.00				1.00								0.40
合計					215.00		207.30	51.9		13		211.20				391.19	78.78				220.94	391.19	

土留工数量計算書 （矢板工）

路線名	マンホール番号	平均掘削深	土工延長	アルミ矢板										鋼矢板Ⅱ型					摘要
				建込				圧入 圧入引抜枚数(枚)：掘削延長/矢板幅(0.333)×両側						圧入 圧入引抜枚数(枚)：掘削延長/矢板幅(0.400)×両側					
		H	L2	2.00m 使用率50%	2.00m	2.50m	3.00m	3.00m	3.50m	4.00m	4.50m	5.00m	5.50m	6.00m	6.50m	7.00m	7.50m	8.00m	
		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	
								枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	
	100-3-1																		
100-3	100-3-2	1.63	3.30		3.30														
	100-3-2																		
100-3	100-5-1	1.64	14.00		14.00														
	100-5-1																		
100-5	102-1-1	1.81	23.80			23.80													
	102-1-1																		
102-1	102-3-1	2.01	23.90			23.90													
	102-3-1																		
102-3	104-1-1	2.10	33.00			33.00													
	104-1-1																		
104-1	104-5-1-1	2.23	38.10			38.10													
S104-5	104-5-2-1																		
-1	S104-5-1-1	1.69	46.00		46.00														
S104-5	S104-5-1-1																		
-1	104-5-1-1	1.78	14.10		14.10														
S104-5	S104-5-2-1																		
-2	104-5-2-1	1.68	15.00		15.00														
合計			211.20		92.40	118.80													

土留工数量計算書 （支保工）

路線名	土工延長	掘削幅	軽量金属支保工			鋼製支保工															主部材重量	副部材A重量	重量計
						1段					2段					3段						副部材B重量	
	L2	G4	1段	2段	3段	腹起材／切梁材	延長	本数	単位重量	重量	腹起材／切梁材	延長	本数	単位重量	重量	腹起材／切梁材	延長	本数	単位重量	重量			
	m	m	m	m	m	規格	m	本	t/m	t	規格	m	本	t/m	t	規格	m	本	t/m	t	t	t	t
100-3	3.30	1.00	3.30																				
100-3	14.00	1.00	14.00																				
100-5	23.80	1.00	23.80																				
102-1	23.90	1.00		23.90																			
102-3	33.00	1.00		33.00																			
104-1	38.10	1.00		38.10																			
S104-5 -1	46.00	1.00	46.00																				
S104-5 -1	14.10	1.00	14.10																				
S104-5 -2	15.00	1.00	15.00																				
合計	211.20		116.20	95.00																			

1号組立マンホール設置工

1号組立マンホール数量集計表

・蓋及び受け枠	内径600	T-25	＝	－	組
・　〃	内径600	T-14	＝	5	組
・調整金具	t=25mm		＝	4	個
・　〃	t=45mm		＝	1	個
・調整リング	t= 50mm		＝	－	
・　〃	t=100mm		＝	7	個
・　〃	t=150mm		＝	－	個
・斜壁ブロック	φ600×φ900×300h		＝	－	
・　〃	φ600×φ900×450h		＝	2	個
・　〃	φ600×φ900×600h		＝	3	個
・直壁ブロック	φ900×300h		＝	－	個
・　〃	φ900×600h		＝	－	個
・　〃	φ900×900h		＝	－	個
・　〃	φ900×1200h		＝	－	個
・　〃	φ900×1500h		＝	－	個
・　〃	φ900×1800h		＝	－	個

・躯体ブロック	φ900×600h	＝	－	個
・　〃	φ900×900h	＝	2	個
・　〃	φ900×1200h	＝	2	個
・　〃	φ900×1500h	＝	1	個
・　〃	φ900×1800h	＝	－	個
・底版ブロック		＝	5	個
・削孔（1号人孔）	φ300(塩ビ)	＝	－	個所
・〃　（1号人孔）	φ200(塩ビ)	＝	9	個所
・〃　（1号人孔）	φ150(塩ビ)	＝	－	個所
・普通副管	φ150	＝	－	箇所
・特殊副管	φ150	＝	－	箇所
・将来普通副管	φ150	＝	－	箇所
・内副管	φ150	＝	－	箇所
・転落防止梯子	内径600	＝	1	組
・平均マンホール深 H		＝	1.788	m
・マンホール設置工	H≦3.0m	＝	5	箇所
・　〃	3.0m＜H≦4.0m	＝	－	箇所
・底部工	推進部	＝	－	箇所
	開削部	＝	5	箇所

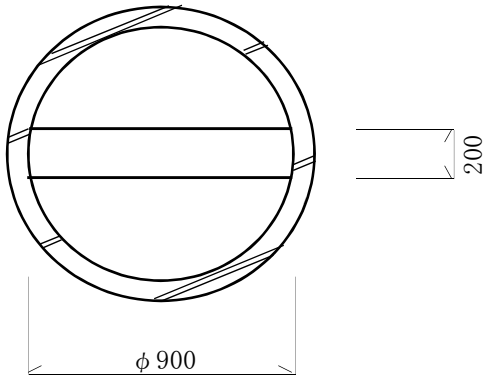
1号組立マンホール数量計算表

記号 マンホール番号	マンホール深 m	流出管 管径 mm / 管底高 m	流出管 管種	流入管 路線番号	流入管 管径 mm	流入管 管種	流入管 管底高 m	流入管 落差 mm	流入管 角度 度	副管 管径 mm	副管 管種	副管 落差 mm	副管 角度 度	調整高 mm	角度の略図	底版 個	躯体ブロック 60 個	躯体ブロック 90 個	躯体ブロック 120 個	躯体ブロック 150 個	躯体ブロック 180 個	躯体ブロック 個	直壁 30 個	直壁 60 個	直壁 90 個	直壁 120 個	直壁 150 個	直壁 180 個	直壁 個	斜壁 30 個	斜壁 45 個	斜壁 60 個	調整リング 5 個	調整リング 10 個	調整リング 15 個	調整金具 25 個	調整金具 45 個	ふた・受わく T-14 個	ふた・受わく T-25 個	転落防止梯子	削孔 流入管	削孔 副管
		200																																								
				100-1	200	PRP	7.587	102																																	PRP200	
100-3-1	1.505	7.485	PRP	100-2	200	PRP	7.505	20						5		1		1													1			2		1		1			PRP200	
		200																																								
				100-4	200	PRP	7.527	114																																	PRP200	
100-5-1	1.557	7.413	PRP	100-3	200	PRP	7.433	20						7		1		1														1		1		1		1			PRP200	
		200																																								
				101-1	200	PRP	7.352	30																																	PRP200	
102-1-1	1.868	7.322	PRP	100-5	200	PRP	7.342	20						18		1			1													1		1		1		1			PRP200	
		200																																								
				102-2	200	PRP	7.575	345																																	PRP200	
102-3-1	1.960	7.230	PRP	102-1	200	PRP	7.250	20						10		1			1													1		2		1		1			PRP200	
		200																																								
104-1-1	2.049	7.111	PRP	102-3	200	PRP	7.131	20						49		1				1											1			1			1	1		1	PRP200	
															合計	5		2	2	1											2	3		7		4	1	5		1	塩ビ200 / 塩ビ150	9

人孔深H≦3.0m　5 箇所
人孔深3.0m＜H≦4.0m　箇所
平均マンホール深　1.788 m

※1 流入管路線番号の( )は将来流入路線を示す。
※2 ふた・受わくの[ ]はT-14仕様を示す。

1 号 マ ン ホ ー ル 底 部 工（開 削 部）数 量 計 算 書

略　　図	計　　算　　式	数　量
		
	基礎砕石　　1.10 ^{2}× π/4　　＝	0.95 ㎡
	インバート　　0.90 ^{2}× π/4 × 0.270	
	－(0.200 ^{2}× π/4)/2× 0.90　　＝	0.16 ㎥
	モルタル上塗り工　0.90 ^{2}× π/4 ＝ 0.636	
	0.636 － 0.200 × 0.90 ＝ 0.456	
	0.456 ＋(0.200 × π) /2 × 0.90　　＝	0.74 ㎡

２号組立マンホール設置工

2号組立マンホール数量集計表

・蓋及び受け枠	内径600	T-25	＝	－	組
・　〃	内径600	T-14	＝	2	組
・調整金具	t=25mm		＝	1	個
・　〃	t=45mm		＝	1	個
・調整リング	t= 50mm		＝	－	個
・　〃	t=100mm		＝	4	個
・　〃	t=150mm		＝	－	個
・斜壁ブロック	φ600×φ1200×300h		＝	－	個
・　〃	φ600×φ1200×450h		＝	－	個
・　〃	φ600×φ1200×600h		＝	2	個
・直壁ブロック	φ1200×600h		＝	－	個
・　〃	φ1200×900h		＝	－	個
・　〃	φ1200×1200h		＝	－	個
・　〃	φ1200×1500h		＝	－	個
・　〃	φ1200×1800h		＝	－	個
・　〃	φ1200×2100h		＝	1	個
・　〃	φ1200×2400h		＝	－	個

・躯体ブロック	φ1200×900h	＝	1	個
・　〃	φ1200×1200h	＝	－	個
・　〃	φ1200×1500h	＝	1	個
・　〃	φ1200×1800h	＝	－	個
・　〃	φ1200×2100h	＝	－	個
・　〃	φ1200×2400h	＝	－	個
・底版ブロック		＝	2	個
・中間スラブ	FRP製	＝	－	個
・削孔（2号人孔）	φ200(PRP)	＝	5	個所
・削孔（2号人孔）	φ200(VP)	＝	2	個所
・内副管（90°）	φ150	＝	3	箇所
・　〃　（斜切り）	φ150	＝	1	箇所
・転落防止梯子	内径600	＝	2	組
・平均マンホール深 H		＝	2.984	m
・マンホール設置工	人孔深H≦4.0m	＝	2	箇所
	人孔深4.0m＜H≦5.0m	＝	－	箇所
	人孔深5.0m＜H≦6.0m	＝		箇所
	人孔深6.0m＜H≦7.0m	＝		箇所
・底部工	推進部	＝	2	箇所

2号組立マンホール数量計算表

記号 マンホール番号	マンホール深 m	流出管 管径 mm / 管底高 m	流出管 管種	流入管 路線番号	流入管 管径 mm	流入管 管種	流入管 管底高 m	流入管 落差 mm	流入管 角度 度	副管 管径 mm	副管 管種	副管 落差 mm	副管 角度 度	調整高 mm	角度の略図
		200		S104-5-1	200	PRP	7.491	547							
104-5				104-4	200	PRP	7.637	693		150	VU	693			
-1-1	2.246	6.944	VP	104-1	200	PRP	6.994	50						46	
		200		S104-5-2	200	PRP	7.576	2118		150	VU	2118			
104-5				S104-5-1	200	PRP	7.677	流出							
-2-1	3.722	5.458	VP	104-5-1	200	VP	6.758	1300		150	VU	1300		22	

記号 マンホール番号	底版 個	躯体ブロック 60 個	躯体ブロック 90 個	躯体ブロック 120 個	躯体ブロック 150 個	躯体ブロック 180 個	躯体ブロック 210 個	躯体ブロック 240 個	直壁 60 個	直壁 90 個	直壁 120 個	直壁 150 個	直壁 180 個	直壁 210 個	直壁 240 個	斜壁 30 個	斜壁 45 個	斜壁 60 個	調整リング 5 個	調整リング 10 個	調整リング 15 個	調整金具 25 個	調整金具 45 個	ふた・受わく T-14 個	ふた・受わく T-25 個	転落防止梯子	中間スラブ FRP	削孔 流入管	削孔 副管
104-5-1-1	1				1													1		2			1	1		1		PRP200 PRP200 PRP200	
104-5-2-1	1		1											1				1		2		1		1		1		PRP200 PRP200 VP200	
合計	2		1		1									1				2		4		1	1	2		2		既VP200 1 VP200 1 PRP200 5	

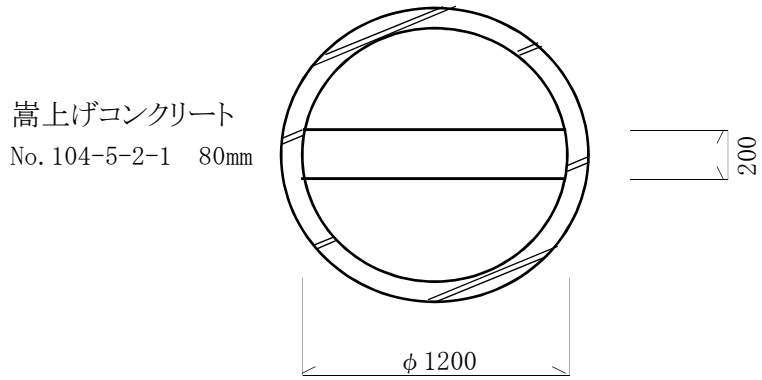
人孔深H≦4.0m　2 箇所　人孔深5.0m＜H≦6.0m　箇所

人孔深4.0m＜H≦5.0m　箇所　人孔深6.0m＜H≦7.0m　箇所

※1 流入管路線番号の( )は将来流入路線を示す。

平均マンホール深　2.984 m

2 号 マ ン ホ ー ル 底 部 工 (推 進 部) 数 量 計 算 書

略　　図	計　　算　　式	数　量
		
	1箇所あたり	
	嵩上コンクリート　2.00 ^{2}× π/4 ×　0.080　＝　0.25	0.25 m^3
	嵩上用型枠　立坑内全面を嵩上げするため、型枠は計上しない。	
	インバート　1.20 ^{2}× π/4 ×　0.320	
	－(0.200 ^{2}× π/4)/2×　1.20　＝	0.34 m^3
	モルタル上塗り工　1.20 ^{2}× π/4 ＝　1.131	
	1.131　－　0.200　×　1.20　＝　0.891	
	0.891 ＋(0.200 × π) /2 × 1.20　＝	1.27 m^2

塩ビマンホール設置工

塩ビマンホール数量集計表

防護蓋　（T-14　台座込み）	＝	3 組
内　蓋　（φ300用）	＝	3 個
仮止めキャップ（φ200VU）	＝	－ 個
くら型マンホール継手（φ200－φ300）	＝	－ 個
立上がり部（差し口形　呼び径300　MVU　高さ 0.6m）	＝	－ 個
〃　（差し口形　呼び径300　MVU　高さ 0.9m）	＝	－ 個
〃　（差し口形　呼び径300　MVU　高さ 1.2m）	＝	2 個
〃　（差し口形　呼び径300　MVU　高さ 1.5m）	＝	1 個
〃　（差し口形　呼び径300　MVU　高さ 2.0m）	＝	－ 個
インバート（起　　点　φ300－φ200）	＝	1 個
〃　（中 間 点　φ300－φ200）	＝	－ 個
〃　（屈 曲 点　φ300－φ200）	＝	2 個
〃　（起点形ドロップ　φ300－φ200 h=1.80m）	＝	－ 個
蓋設置工（鋳鉄製防護蓋）	＝	3 個所
小型マンホール設置工（マンホール深さ H≦2.0m）	＝	3 個所
小型マンホール設置工（マンホール深さ 2.0m＜ H≦3.50m）	＝	個所

塩ビマンホール数量計算表

マンホール番号	マンホール深さ (m)	防護蓋 T-14 (組)	内蓋 φ300用 (個)	仮止めキャップ (個)	くら型 マンホール継手 (個)	立上り管(差し口形) (m)					インバート			
						0.6	0.9	1.2	1.5	2.0	起 点 (KT)	中間点 (ST)	屈曲点 (15L～90L)	起点形ﾄﾞﾛｯﾌﾟ (KDR)1.8h
100-3-2	1.535	1	1			1.535 − (0.15 + 0.255) = 1.130								
								1					1	
S104-5-1-1	1.654	1	1			1.654 − (0.15 + 0.255) = 1.249								
									1				1	
S104-5-2-1	1.546	1	1			1.546 − (0.15 + 0.255) = 1.141								
								1			1			
合計	平均MH 1.578	3	3					2	1		1		2	

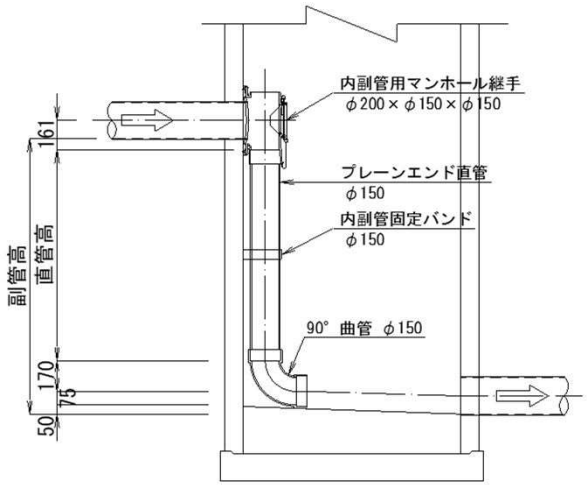
副 管 設 置 工

副 管 設 置 工(φ150) 総 括 表

種　　別	細　　別		単位	数　量	備　考
副管設置工	(標準副管)	段差1.0m未満	箇所	－	
	(　〃　)	段差1.0m以上～1.5m未満	箇所	－	
	(内副管)	段差1.0m未満	箇所	1	
	(　〃　)	段差1.0m以上～1.5m未満	箇所	1	
	(　〃　)	段差1.5m以上～2.0m未満	箇所	－	
	(　〃　)	段差2.0m以上～2.5m未満	箇所	2	
	(　〃　)	段差2.5m以上～3.0m未満	箇所	－	
	(　〃　)	段差3.0m以上～3.5m未満	箇所	－	
副管材料					
内副管用マンホール継手	(φ200×φ150)		個	4	
90°曲管	(φ150)		個	3	
内副管固定バンド	(φ150用)		個	5	
ﾌﾟﾚｰｴﾝｴﾝﾄﾞ直管	(φ150VU)		m	5.100	
副管取付工	(φ150)				
	内副管取付	段差1.0m未満	箇所	1	
	〃	段差1.0m以上～1.5m未満	箇所	1	
	〃	段差1.5m以上～2.0m未満	箇所	－	
	〃	段差2.0m以上～2.5m未満	箇所	2	
	〃	段差2.5m以上～3.0m未満	箇所	－	
	〃	段差3.0m以上～3.5m未満	箇所	－	

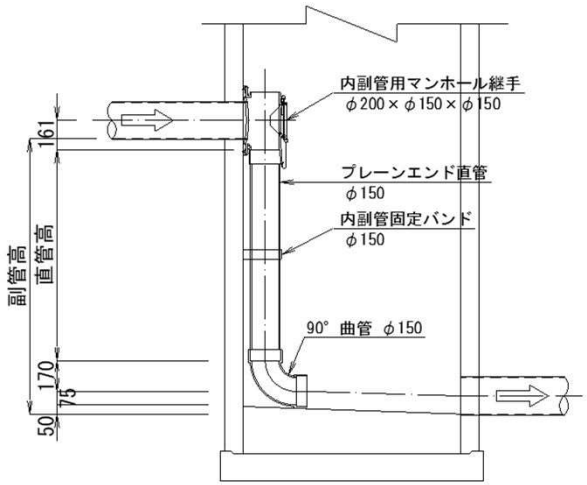
内 径　150　mm　内副管設置工　（本 管　VP200　mm・流入管　PRP200　mm）

略　図	工　種	計　算　式	数 量
No.　104-5-1-1　マンホール 副管高＝　0.693　m	設 置 個 所		1　箇所
副管標準構造図			
	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管 （φ150）	流入管/2　支管　曲管上部　副管径/2　ステップ 0.693 ＋ 0.100 － 0.161 － 0.170 － 0.075 － 0.05	
		＝ 0.337 × 1 箇所　＝ 0.337	0.34　m
	内副管用 マンホール継手	φ200×φ150×φ150	1　個
	固定バンド （φ150）	直管1mごとに1個 0.337 ÷ 1.00 × 1 箇所	－　個
	90°曲管 （φ150）		1　個



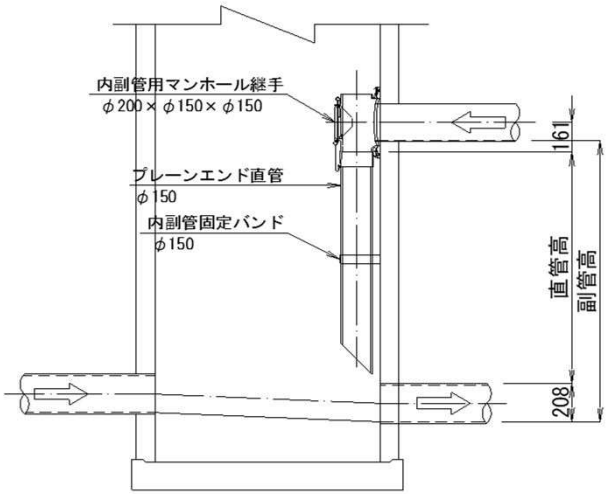
内 径　150　mm　内副管設置工　（本 管　VP200　mm・流入管　VP200　mm）

略　図	工　種	計　算　式	数 量
No.　104-5-2-1　マンホール 副管高＝　1.300　m	設 置 個 所		1　箇所
副管標準構造図			
	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管 （φ150）	流入管/2　支管　曲管上部　副管径/2　ステップ 1.300 ＋ 0.100 － 0.161 － 0.170 － 0.075 － 0.05	
		＝ 0.944 × 1 箇所　＝ 0.944	0.94　m
	内副管用 マンホール継手	φ200×φ150×φ150	1　個
	固定バンド （φ150）	直管1mごとに1個 0.944 ÷ 1.00 × 1 箇所	1　個
	90°曲管 （φ150）		1　個



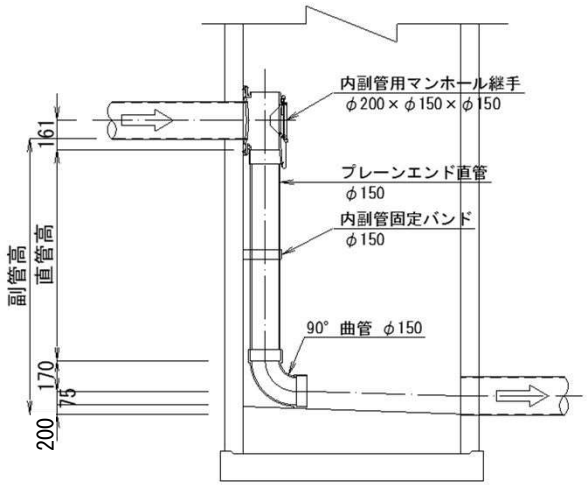
内 径　150　mm　内副管設置工　（本 管　VP200　mm・流入管　PRP200　mm）

略　図	工　種	計　算　式	数 量
No.　104-5-2-1　マンホール 下流 副管高＝　2.118　m	設 置 個 所		1　箇所
副管標準構造図			
	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管 （φ150）	流入管/2　支管　本管 2.118　＋　0.100　－　0.161　－　0.208	
		＝　1.849　×　1　箇所　＝　1.849	1.85　m
	内副管用 マンホール継手	φ200×φ150×φ150	1　個
	固定バンド （φ150）	直管1mごとに1個 1.849　÷　1.00　×　1　箇所	2　個



内 径　150　mm　内副管設置工　（本 管　VP350　mm・流入管　VP200　mm）

略　図	工　種	計　算　式	数 量
既設　No.4-8-1　マンホール 副管高＝　2.472　m	設 置 個 所		1　箇所
副管標準構造図			
	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管 （φ150）	流入管/2　支管　曲管上部　副管径/2　ステップ 2.472 ＋ 0.100 － 0.161 － 0.170 － 0.075 － 0.20	
		＝ 1.966 × 1 箇所　＝ 1.966	1.97　m
	内副管用 マンホール継手	φ200×φ150×φ150	1　個
	固定バンド （φ150）	直管1mごとに1個 1.966 ÷ 1.00 × 1 箇所	2　個
	90°曲管 （φ150）		1　個



取付管及び桝設置工

汚水設置及び取付管工総括表(BH0.2m³)

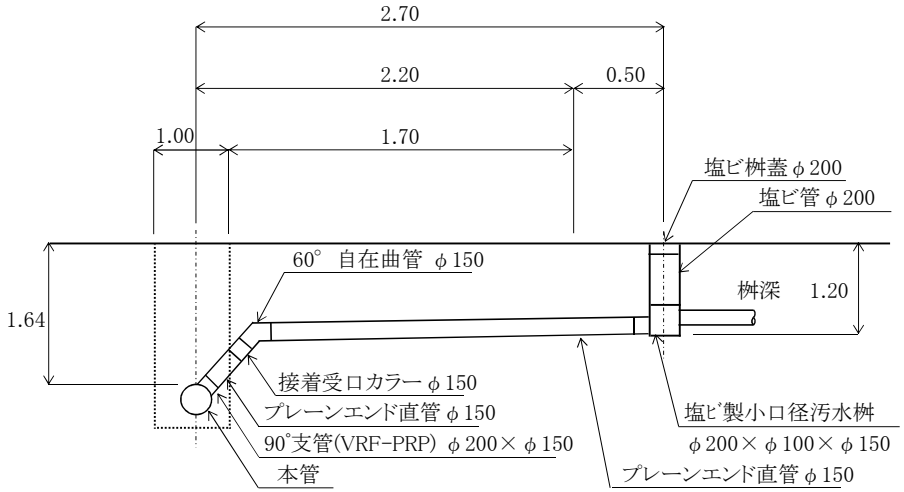
種別		工種	単位	市道As(標準)	市道As(ドロップ)		合計
汚水取付管取付箇所数		桝本体～口径200mm	箇所	6	3		9 箇所
汚水桝取付箇所数			箇所	6	3		9 箇所
汚水桝材料	汚水桝(標準)	汚水桝 H=0.80m φ200	個				個
		汚水桝 H=0.90m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.00m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.10m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.20m φ200	〃	6			6 〃
		汚水桝 H=1.30m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.50m φ200	〃				〃
	汚水桝(ﾄﾞﾛｯﾌﾟ型)	汚水桝 H=0.80m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.30m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.40m φ200	〃				〃
		汚水桝 H=1.50m φ200	〃		2		2 〃
		汚水桝 H=1.60m φ200	〃		1		1 〃
鋳鉄製防護蓋設置個所数			箇所				箇所
取付管布設延長		水平長	m	16.20	7.80		24.00 m
		平均	〃	24.00	÷	9	2.67 m
土工	掘削延長		m	2.20	2.10		
	掘削工	機械掘削	m³	9.71	4.77		14.5 m³
	〃	人力掘削	m³	2.94	1.53		4.5 m³
	基礎工	再生砂	〃	3.12	1.50		4.6 m³
	埋戻し	人力埋戻し(発生土)	〃	2.29	1.21		3.5 〃
	埋戻し	機械埋戻し(再生砂)	〃	4.20	2.15		6.4 〃
	残土		〃	10.11	4.96		15.1 〃
土留工	アルミ矢板	L＝2.50m	m				m
舗装工	舗装切断工	t=20cm以下	m	13.56	6.18		19.74 m
	舗装版破砕工	t=15cm以下	m²	5.63	2.60		8.23 m²
	路盤工	再生粒調砕石 t=22cm	m²	5.63	2.60		8.23 m²
	〃	再生切込砕石 t=20cm	m²	5.63	2.60		8.23 m²
	表層工	再生密粒度As t=3cm	m²	5.63	2.60		8.23 m²
ガラ処分工		As	m³	0.28	0.13		0.41 m³

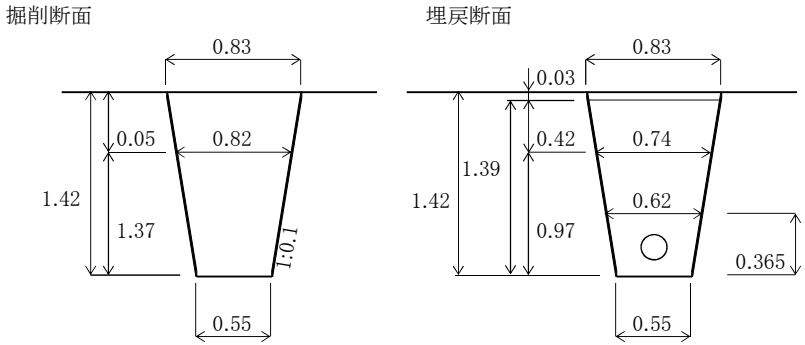
取付管数量計算書	現況舗装 As： 5 cm 路盤： 40 cm
市道As(標準)	舗装復旧 As： 3 cm 路盤： 42 cm

路線番号	人孔番号 上流 / 下流	箇所数 左 (箇所)	箇所数 右 (箇所)	箇所数 合計 (箇所)	支管取付工 PRP φ200 (箇所)	支管取付工 人孔取付 (箇所)	本管 平均土被り 箇所当り (箇所)	本管 平均土被り 累計 (箇所)	本管 掘削幅 箇所当り (箇所)	本管 掘削幅 累計 (箇所)	占用 左 箇所当り (箇所)	占用 左 累計 (箇所)	占用 右 箇所当り (箇所)	占用 右 累計 (箇所)	側溝幅 左 箇所当り (箇所)	側溝幅 左 累計 (箇所)	側溝幅 右 箇所当り (箇所)	側溝幅 右 累計 (箇所)	汚水桝 H=0.80 (箇所)	汚水桝 H=0.90 (箇所)	汚水桝 H=1.00 (箇所)	汚水桝 H=1.10 (箇所)	汚水桝 H=1.20 (箇所)	汚水桝 H=1.30 (箇所)	汚水桝 H=1.50 (箇所)
102-3	102-3-1 104-1-1		1	1	1		1.80	1.80	1.00	1.00			2.10	2.10			0.57	0.57					1		
104-1	104-1-1 104-5-1-1		2	2	2		1.92	3.84	1.00	2.00			2.40	4.80			0.57	1.14					2		
S104-5-1	S104-5-1-1 104-5-1-1	1		1	1		1.48	1.48	1.00	1.00	2.10	2.10			0.57	0.57							1		
S104-5-2	S104-5-2-1 104-5-2-1	2		2	2		1.37	2.74	1.00	2.00	2.10	4.20			0.57	1.14							2		
小計				6	6		9.86		6.00		6.30		6.90		1.71		1.71						6		
累計				6	6		9.86		6.00		13.20				3.42				設置数 6						
平均							1.64		1.00		2.20				0.57				桝深 1.20						

取付管数量　市道As(標準)

工　種		数　量
1)取付管水平距離		
	2.20 ＋ 0.50	2.70 m
2)掘削延長		
	2.20 ＋ 0.50 － 1.00 ／ 2	2.20 m
3)舗装取壊工		
	舗装切断工 (1.70 － 0.57) × 2 本 × 6 箇所	13.56 m
	路盤工 (1.70 － 0.57) × 0.83 × 6 箇所	5.63 ㎡
	表層工 (1.70 － 0.57) × 0.83 × 6 箇所	5.63 ㎡
	Asガラ処分 5.63 × 0.05	0.28 ㎥
4)掘削工		
	機械掘削 (0.83 ＋ 0.55) ／ 2 × 1.42 × 1.70 × 6 箇所 － 0.28	9.71 ㎥
	人力掘削 (0.83 ＋ 0.55) ／ 2 × 1.42 × 0.50 × 6 箇所	2.94 ㎥
5)基礎工		
	再生砂 {(0.62 ＋ 0.55) ／ 2 × 0.365 － 0.021 } × 2.70 × 6 箇所	3.12 ㎥
6)埋戻し工	宅内	
	発生土 (0.83 ＋ 0.62) ／ 2 × (1.42 － 0.365) × 0.50 × 6 箇所	2.29 ㎥
	道路側	
	再生砂 (0.74 ＋ 0.62) ／ 2 × (0.97 － 0.365) × 1.70 × 6 箇所	4.20 ㎥
7)残土処分工		
	9.71 ＋ 2.94 － 2.29 ／ 0.9	10.11 ㎥





管基礎控除量

$0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$ ㎥

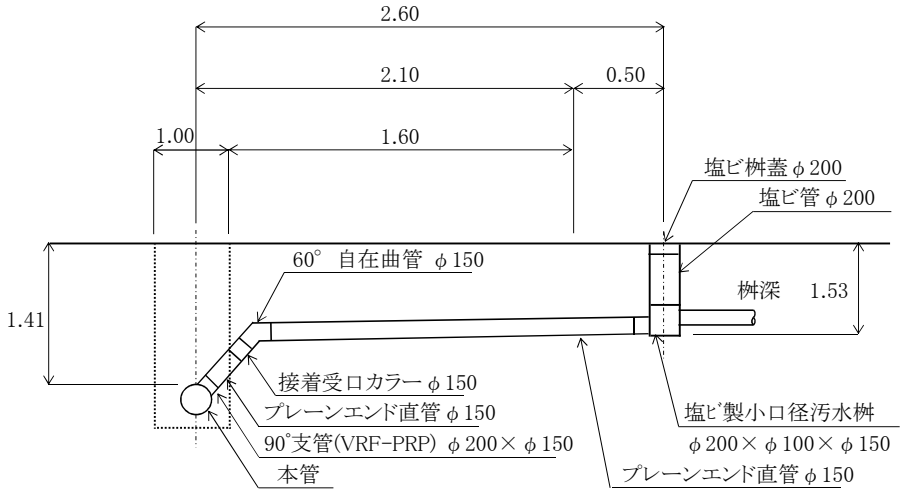
平均掘削深 $\dfrac{1.64 + 1.20}{2} = 1.42$ m

取付管数量計算書	現況舗装 As： 5 cm 路盤： 40 cm
市道As(ドロップ)	舗装復旧 As： 3 cm 路盤： 42 cm

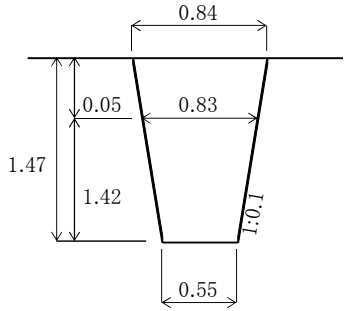
路線番号	人孔番号 上流	人孔番号 下流	箇所数 左 (箇所)	箇所数 右 (箇所)	箇所数 合計 (箇所)	支管取付工 PRP φ200 (箇所)	支管取付工 人孔取付 (箇所)	本管 平均土被り 箇所当り (箇所)	本管 平均土被り 累計 (箇所)	本管 掘削幅 箇所当り (箇所)	本管 掘削幅 累計 (箇所)	占用 左 箇所当り (箇所)	占用 左 累計 (箇所)	占用 右 箇所当り (箇所)	占用 右 累計 (箇所)	側溝幅 左 箇所当り (箇所)	側溝幅 左 累計 (箇所)	側溝幅 右 箇所当り (箇所)	側溝幅 右 累計 (箇所)	汚水桝 H=0.80 (箇所)	汚水桝 ドロップ H=1.30 (箇所)	汚水桝 ドロップ H=1.40 (箇所)	汚水桝 ドロップ H=1.50 0.80 (箇所)	汚水桝 ドロップ H=1.60 0.80 (箇所)		
	104-5-2-1																									
S104-5-1-1		S104-5-1-1	2		2	2		1.38	2.76	1.00	2.00	2.10	4.20			0.57	1.14						1	1		
	S104-2-1-1																									
S104-5-1-1		104-5-1-1	1		1	1		1.48	1.48	1.00	1.00	2.10	2.10			0.57	0.57						1			
小計					3	3		4.24		3.00		6.30				1.71							2	1		
累計					3	3		4.24		3.00		6.30				1.71				設置数 3						
平均								1.41		1.00		2.10				0.57				桝深 1.53						

取付管数量　市道As(ドロップ)

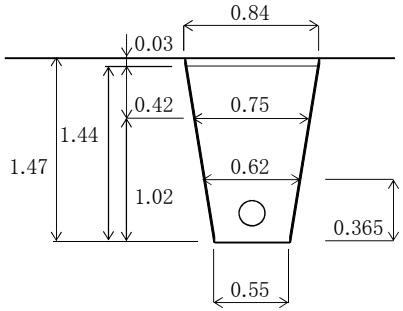
工　種		数　量
1)取付管水平距離		
	2.10 ＋ 0.50	2.60 m
2)掘削延長		
	2.10 ＋ 0.50 － 1.00 ／ 2	2.10 m
3)舗装取壊工		
	舗装切断工 (1.60 － 0.57) × 2 本 × 3 箇所	6.18 m
	路盤工 (1.60 － 0.57) × 0.84 × 3 箇所	2.60 ㎡
	表層工 (1.60 － 0.57) × 0.84 × 3 箇所	2.60 ㎡
	Asガラ処分 2.60 × 0.05	0.13 ㎥
4)掘削工		
	機械掘削 (0.84 ＋ 0.55) ／ 2 × 1.47 × 1.60 × 3 箇所 － 0.13	4.77 ㎥
	人力掘削 (0.84 ＋ 0.55) ／ 2 × 1.47 × 0.50 × 3 箇所	1.53 ㎥
5)基礎工		
	再生砂 {(0.62 ＋ 0.55) ／ 2 × 0.365 － 0.021 } × 2.60 × 3 箇所	1.50 ㎥
6)埋戻し工	宅内	
	発生土 (0.84 ＋ 0.62) ／ 2 × (1.47 － 0.365) × 0.50 × 3 箇所	1.21 ㎥
	道路側	
	再生砂 (0.75 ＋ 0.62) ／ 2 × (1.02 － 0.365) × 1.60 × 3 箇所	2.15 ㎥
7)残土処分工		
	4.77 ＋ 1.53 － 1.21 ／ 0.9	4.96 ㎥



掘削断面



埋戻断面



管基礎控除量

$0.165^2 \times \pi / 4 = 0.021$ ㎥

平均掘削深 $\dfrac{1.41 + 1.53}{2} = 1.47$ m

付　帯　工

付帯工数量集計表

工 種	種 別	規 格	単位	開削部	立坑部	取付管部			合 計
舗装撤去工									
	舗装切断工	舗装厚 t≦15㎝	m	422.40	13.91	19.74			456.05 m
		舗装厚 15＜t≦30㎝	m						m
	舗装版破砕工	直接掘削積込 t≦10cm	m^2	211.20	7.32	8.23			226.75 m^2
		破砕後掘削積込 15cm＜t≦35cm	m^2						m^2
	Asガラ処分工		m^3	10.56	0.37	0.41			11.34 m^3
道路復旧工									
	市道仮復旧								
	表層工	再生密粒度アスコン t=3cm	m^2	211.20	6.26	8.23			225.69 m^2
	上層路盤工	再生粒調砕石 t=22cm	m^2	211.20	4.63	8.23			224.06 m^2
	下層路盤工	再生切込砕石 t=20cm	m^2	211.20	4.63	8.23			224.06 m^2
	県道仮復旧								
	表層工	密粒度アスコン t=7cm	m^2						m^2
	上層路盤工	再生粒調砕石 t=42cm	m^2						m^2
	下層路盤工	再生切込砕石 t=38cm	m^2						m^2
	歩道(県道)仮復旧								
	表層工	細粒度アスコン t=3cm	m^2						m^2
	路盤工	再生切込砕石 t=10cm	m^2						m^2

付帯工数量計算書　（開削部）

工　種	計算式	数　量
舗装区間延長		
県道部		－ m
市道部	211.20 ＝ 211.20	211.20 m
舗装撤去工		
舗装切断工		
舗装厚 t≦15cm	211.20 × 2 ＝ 422.40	422.40 m
舗装厚 15cm＜t≦30cm		－ m
舗装版破砕工		
舗装厚 t≦10cm	211.20 × 1.00 ＝ 211.20	211.20 ㎡
舗装厚 15cm＜t≦30cm		－ ㎡
Asガラ処分工	211.20 × 1.00 × 0.05 ＝ 10.56	10.56 ㎥
道路復旧工(仮復旧)		
市道部		
表層工 再生密粒度ｱｽｺﾝ t=3cm	211.20 × 1.00 ＝ 211.20	211.20 ㎡
上層路盤工 再生粒調砕石 t=22cm	211.20 × 1.00 ＝ 211.20	211.20 ㎡
下層路盤工 再生切込砕石 t=20cm	211.20 × 1.00 ＝ 211.20	211.20 ㎡
県道部		
表層工 密粒度ｱｽｺﾝ t=7cm		－ ㎡
上層路盤工 再生粒調砕石 t=42cm		－ ㎡
下層路盤工 再生切込砕石 t=38cm		－ ㎡

運 搬 重 量

仮 設 材 運 搬 工

種　　別	運 搬 重 量 (t)(往路)	運 搬 重 量 (t)(復路)	備　　考
鋼製立坑用覆工板(φ1800)	1.020	1.020	
鋼製立坑用覆工板(φ2000)	1.170	1.170	
仮設ケーシング(φ1800)	1.480	1.480	アート工法
仮設ケーシング(φ2000)	1.650	1.650	〃
アルミ矢板(φ200mm布設)	1.277	1.277	0.593＋0.684
合　計	6.597	6.597	積込み・取り卸し